

【プラセンタ研究交流会第三回セミナー】

プラセンタ療法の症例のご紹介

2013年3月17日

ジェムペットサービス

獣医師 新妻 桂子

プラセンタ療法の位置づけ

方向付け

治療
鍼灸



補充

ビタミン
ミネラル



底上げ

食事
環境

プラセンタ

ホルモン調節
代謝活性
抗炎症
肝庇護
血液疎通

(症例1) 脊髄梗塞

1. ゴールデンレトリバー、未避妊メス、5歳、25kg
2. 主訴:ふらつく
3. 経緯:他院MRIにて頸部脊髄梗塞との診断を受け、ステロイド加療中
4. 診察:右前肢ナックリング、皮筋反射あり、肛門反射あり、痛覚あり
舌:赤紫、しわなし、肥大
脈:細い

<処置>

IV:ビタルファ0.16ml/k、グルタチオン5mg/k

SC:ラエンネック

PO:プラセンタ(マーベラスピュア・プラセンタ、マーベラスDAプラセンタ)、ノイロビタン1t tid

【治療期間】 3ヶ月

【経過】

治療翌週より下痢が始まり、嘔吐を間歇的に繰り返すようになった。

一カ月後、後肢不全麻痺、自力排泄不能となる。がすぐに回復に転じ、二日後には自力で起立できるようになった。さらに一週間後には自力排尿が回復した。

二カ月後ほぼ歩様良好となり、三カ月後に終了となる。一年半経過したが再発もなく良好な状態を保っている。

(症例2) 腰痛

1. ビーグル、去勢オス、6歳、9kg
2. 主訴: きゃんとないてヨタヨタ歩いている
3. 既往歴: 頸椎ヘルニア(手術)、腰椎ヘルニア(内科治療)
4. 経緯: 他院にて血液検査・レントゲン検査するも異常ない
5. 診察: 尾根部過敏、呼吸促拍、心拍出音強勢、脱水(7%)

<処置>

IV: ビタルファ 0.16ml/k、グルタチオン5mg/k

SC: ソルアセト

PO: プラセンタ(マーベラスDAプラセンタ)、ウルソ5mg/k、
タウリン50mg/k、ノイロビタン1t tid

【経過】

一カ月後歩様良好となり終了。半年経過したが再発無く良好。

(治療後)



(症例3) 脳疾患

1. マルチーズ、去勢オス、6歳、4kg
2. 主訴:突然立てなくなった
3. 経緯:他院にてレントゲン検査異常なし
4. 診察:四肢緊張、全体的に右傾、姿勢反射および脳神経検査では明らかな以上は認められなかった。舌:赤紫、心拍出音強勢

<処置>

IV:ビタルファ 0.16ml/k、強カミノファーゲンシー 0.32ml/k

SC:ソルデム、レバチオ3ml、メルスモン1A

PO:プラセンタ(マーベラスDAプラセンタ)、ノイロビタン1t tid

【経過】

一週間後に右傾が回復したが、四肢の緊張がまだ残る。一ヶ月後に歩様良好。その後も再発なく良好。

(症例4) 慢性疲労、関節痛

1. チベタンテリア、未去勢オス、16歳、8kg
2. 主訴:なんとなく元気がない、ALP(1800)
3. 診察:歯肉うっ血、肛門腫れ、pad硬い、四肢関節可動域狭い、胸部疼痛、BCS(2)

<処置>

IV:タチオン1.7mg/k

SC:ラエンネック 2A

PO:プラセンタ(マーベラスDAプラセンタ)、亜鉛1.6mg/k、ウルソ5mg/k、ノイロビタン
1t tid

【経過】

一ヶ月後、覇気がでてソファに登れるようになった。
一年後の検査でALPが低下(582)した。

(症例5) 甲状腺機能低下症

1. トイプードル、去勢オス、6歳、10kg
2. 主訴: 生後三ヶ月で同居したころから皮膚を痒がる。治療を繰り返し、甲状腺機能低下症と診断される
3. 診察: 両側性に脱毛、掻痒、湿疹
脈: 深く弱い 舌: 紫

<処置>

IV: タチオン10mg/k、ビタミンC50mg
ビタルファ0.16ml/k

PO: プラセンタ(マーベラスDAプラセンタ)、
タウリン50mg/k、亜鉛1.6mg/k
(2ヶ月後) (4ヶ月後)

【経過】

6ヶ月経過したが、現在も加療中。

(6ヶ月後)



(症例6) ノミアレルギー

1. 柴犬、去勢オス、7歳、8kg
2. 主訴:皮膚を痒がる
3. 診察:広範囲(腰背部、膝～下腹～腋下)に脱毛、発赤、ノミ寄生

<処置>

PO:プラセンタ(マーベラスDAプラセンタ)、セファランチン1t tid、グルタチオン6mg/k
岩塩による塩水浴

【経過】

二ヵ月後に飼い主様よりお電話あり、皮膚症状すべて消失したとのこと。

(症例7) 頌椎疾患

1. ヨークシャテリア、去勢オス、3歳、2. 9kg
2. 主訴: 食事後、伏せをして苦しがる
3. 経緯: 背中を丸めて動かない。血液検査(一般、コルチゾール)やレントゲンでも原因不明。痛み止めの注射を毎日行うも好転しない。二日前より震えるようになり、日中もぐったりしている。MRI検査予定。
4. 診察: 脱水(7%)、発咳、心拍出強勢、元気低下、前傾姿勢、食欲あり、嘔吐なし

<処置>

IV: 強カミノファーゲンシー0.33ml/k、ビタミンC50mg、ビタルファ0.16ml/l

SC: ソルアセト、ラエンネック1A

PO: プラセンタ(マーベラスDAプラセンタ)、ウルソ5mg/k、
タウリン50mg/k、ノイロビタン1t tid

(治療後)

【経過】

二週間後には上記症状すべて消失した



(症例8) 痙攣発作

1. 柴、未避妊メス、5歳、10kg
2. 主訴:痙攣発作
3. 経緯:突然固まって震える。正味3~5分、全体で30分くらい。一年前に発症し、三ヶ月前から月2~5回に増加した。血液検査異常なし。
4. 診察:心拍出音強勢、舌:紫

<処置>

PO:ウルソ、タウリン、プラセンタ(マーベラスDAプラセンタ)

【経過】

翌月より発作が月一度に減少し、程度も軽くなった。半年後より発作は発生しなくなり初診より一年経過したが発作は起こっていない。

当院における治療実績

プラセンタを併用した治療実績

	疾患	併用薬	治療期間
1	脊髄梗塞	ノイロビタン	3ヶ月
2	腰痛	ウルソ、タウリン、ノイロビタン	1ヶ月
3	脳梗塞	ノイロビタン	1ヶ月
4	慢性疲労・関節痛	亜鉛、ウルソ、ノイロビタン	1年
5	甲状腺機能低下症	タウリン、亜鉛	5ヶ月（継続中）
6	ノミアレルギー	セファランチン、タチオン	2ヶ月
7	皮膚掻痒	ウルソ、タウリン、亜鉛	2ヶ月
8	頰椎疾患	ウルソ、タウリン、ノイロビタン	1ヶ月
9	てんかん	ウルソ、タウリン	1年（継続中）
10	大腿骨頭壊死	ウルソ	2ヶ月
11	夜鳴き	ウルソ、タウリン	2ヶ月
12	外耳炎（マラセチア）	亜鉛、グリチロン	1ヶ月
13	問題行動（咬む）	ウルソ、タウリン、亜鉛	5ヶ月（継続中）

これまでプラセンタを治療に使用して・・・

- ★ 回数よりも量が大事。より濃くより多く。
 - 当院におけるプラセンタ服用量（マーベラス DA プラセンタ）

小型～中型	:	1/4～1/3杯
大型	:	1/2～1杯
 - 朝晩二回よりも、二回分を一日一回

- ★ 特に効果を感じているのは
 - 創傷治癒
 - 体力回復・滋養強壮
 - 血液のうっ滞除去（脳、血管）
 - 抗炎症

- ★ 本来の自然治癒力まで取り戻すが、それ以上の過剰作用はない。
- ★ 静脈注射は安全性・効果とも未確認。皮下注射のみで使用。
- ★ 人医療で癌治療に効果を挙げているが、当院での治療実績はない。
 - 女性ホルモン系の癌は避けたほうが良いとの報告。
（吉田クリニック院長 吉田健太郎先生）

- ★ 人医療では精神疾患に一番効果があるとの報告。
（吉田クリニック院長 吉田健太郎先生）